

立命館大学技術士会 第2回総会

議 案 書

R

平成23年(2011年) 5月14日

(社)中央電気倶楽部215号室

14:00 ～ 16:00

立命館大学技術士会第2回総会議案

<第1号議案>

① 立命館大学技術士会第1期(2009年12月19日～2011年3月31日)事業報告

(1) 技術士補登録の推進

JABEE制度活用等による技術士補登録については、問い合わせが1件ありましたが、目的等が不明確で保留中とした。

一方、JABEE制度と技術士制度の説明を、大学の要請で、2010年6月19日(土)に実施した。2011年度も実施する予定である。

(2) 会員の拡大と増強

正会員および準会員150名を目標に組織基盤を構築するために努力し本会員101名(内1名逝去)、特別会員1名、準会員11名、賛助会員2社、合計=113名(内1名逝去)および2社の実数114名・社となっている。

達成率は、76.7%である。

(3) ホームページの立ち上げ

HPについては、設立総会時に校友会より校友会にリンクする形態での支援が出来ることのアドバイスを受け、即時にHPリンクをさせていただき、『立命館大学技術士会ホームページ』の立ち上げができた。

HP掲載は、2009年12月24日より始めることができた。

(4) 技術士試験受験への支援

技術士第一次試験への支援 …… 講習会受講者、大阪校友会総会で、受験者、受験希望者に対して、過去問題集等の資料提供をした。

技術士第二次試験への支援 …… 支援の講習会等は以下のとおり

第1回講習会	2010年 3月 6日	13名参加	大阪オフィス
第2回講習会	2010年 6月26日	10名参加	(社)中央電気倶楽部
口頭試験模擬	2010年11月20日	2名参加	(社)中央電気倶楽部

2011年

第1回技術士第二次試験受験ガイダンス 2月19日 9名参加

第2回技術士第二次試験受験ガイダンス 3月26日 6名参加

ともに(社)中央電気倶楽部

(5) 技術講演会および親睦会

技術講演会は、組織基盤を構築中のため第1期は見送った。

懇親会については、2010年11月20日(土)に大阪梅田において開催し、校友会よりの来賓参加を含め、33名の参加で交流を深めた。

参加者には、技術士第二次試験筆記試験に合格し、口頭試験模擬等を直前に受けた2名を含め、様々な校友が集まった。

立命館大学技術士会第1期決算報告および監査報告
(2009年12月19日～2011年3月31日)

決 算 報 告			
項 目	予 算	決 算	摘 要
(1) 収入			
①会費収入	300,000	238,000 39,000 40,000 42,000 359,000	会費(次期:3名+賛1含む) 寄付金 会費前払い(20年分) 総会、幹事会懇親残金等 上記小計
②講習会収入	-	32,230	講習会必要経費減後額
③利息収入	-	36	郵貯銀行
合 計	300,000	391,266	差し引き +91,266
(2) 支出			
①通信事務費	20,000	35,970	総会議決、通信送付代
②受験支援等 事務費	150,000	48,600	受験呼びかけ、連絡等
③HP立上げ 維持費	100,000	-	校友会リンクにより無料
④会議費等	-	79,262	幹事会、講習会会場費
⑤手数料	-	10,580	振込み手数料
⑥予備費	30,000	-	
合 計	300,000	174,412	差し引き -125,588
立命館大学技術士会第1期会計収支決算			
① 収入額		391,266	
② 支出額		174,412	
収支合計= ①-②		216,854	… 次期繰り越し金額
監 査 報 告			
立命館大学技術士会第1期会計内容につき、通帳、金銭出納簿、領収証 および入金書類を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。			
以上			
平成23年 4月 9 日		立命館大学技術士会	
		会計監事 宮川 繁雄	印 
		会計監事 村山 稔	印 

立命館大学技術士会総会会計収支計算報告

2009年(平成21年)12月19日(土)
(社)中央電気倶楽部317号室
15:00 ～ 17:00

① 收入

会費(一人3,000円) 会員参加者 31名 (内前納5名)

当日収入	3,000	×	26名	=	78,000
立命館大学 祝金				=	10,000
計					88,000
前納(5名)				=	15,000
合計					103,000

② 支出

1) 部屋使用料 (317号室)	23,900
ワイヤレスマイク	1,600
小計	25,500
2) コーヒー代	11,088
3) 懇親会費	28,110
合計	64,698

③ 収支計算

①－② 88,000－64,698 ＝ 23,302
 当日余剰金 ＝ 23,302
 当日余剰金は会計に繰り入れました。

当日の会計繰り入れは、その後幹事有志の懇親会残金等を合わせ、24,000円をゆうちょ銀行通帳に振り込みました。

幹事会幹事長 糸田川 廣志

<第3号議案>
第2期事業計画(案)および予算(案)

<事業計画(案)>

(1) 会員拡大と組織強化

本会の組織基盤を確立するために、会員の拡大・増強を行い、正会員、特別会員、準会員および賛助会員の計150以上を目標に基盤構築を図る。

(2) 技術士試験受験への支援

既に開催した受験ガイダンスに続き、昨年同様5月下旬～6月上旬に第1回講習会、7月中旬には第2回講習会を予定している。開催時期については、昨年を参考に日程を決めることとする。

詳細は、HPにおいて掲載する。

(3) 立命館大学への支援

昨年、大学の要請に応じて『JABEE制度と技術士制度説明会』の支援を実施したが、今年も要請されているため大学の日程に合わせて、説明会を実施する。

(4) 技術講演会および親睦会

資質向上のための講演会等の企画・実施、会員相互の親睦を通じて会の発展を図る。

行動予定は、HPに掲載する。

<予 算(案)>

① 収 入

(1) 会費	本・特別・準会員	300,000
	賛助会員	100,000
(2) 講習会等		50,000
(3) その他		13,146
(4) 前期繰越金		216,854
合 計		680,000

② 支 出

(1) 通信事務費	50,000
(2) 受験支援事務費	80,000
(3) 講習会、幹事会等会場費	100,000
(4) 振替手数料	15,000
(5) 予備費	100,000
(6) 次期繰越金	335,000
合 計	680,000

<第4号議案>

第2期役員人事(案):敬称略

役 職 名	氏 名	卒 業 年
会 長 (1名)	渡邊 郁夫	S 42 土木
副 会 長 (若干名)	大森 秀高	S 50 土木
幹 事 (15名以内)	渡邊 郁夫 留任	S 42 土木
	大森 秀高 留任	S 50 土木
	北脇 督三 留任	S 38 土木
	口西 博 留任	S 38 土木
	福田 雅夫 留任	S 42 機械
	糸田川 廣志 留任	S 47 土木
	南側 晃一 留任	S 53 土木
	土屋 光弘 留任	S 58 土木
	山崎 糸治 新任	S 50 土木
	西村 敏 新任	S 54 土木
	楠本 博 新任	S 54 土木
	青山 裕之 新任	H 05 土木
	今道 洋 新任	H 13院 土木
	長谷川 真也 新任	H 13 土木
	橋口 正悟 新任	H 15院 土木
幹事長 (1名)	糸田川 廣志 留任	S 47 土木
会計監事 (2名)	宮川 繁雄 留任	S 46 土木
	村山 稔 留任	S 49 土木
相談役	岸田 順三	S 40 土木

<第5号議案>

会則改定(案)

第3章 (役員)

第10条 本会には次の役員を置く

会 長	1 名	→ 1 名
副会長	若干名	→ 若干名(6名程度)
幹事長	1 名	→ 1 名
幹 事	15名以内	→ 20名以内
会計監事	2名	→ 2 名

<改定理由>

技術士資格者は、化学・電気・機械・土木・環境・情報工学科等があり、各部門の副会長が必要となるため、副会長を6名程度とする。

また幹事については、部門および専門を考慮して、支援・指導を効率的に行えるように20名まで拡大する。